

女性活躍推進フォーラム

「仕事と生活の調和」

コスモピア代表 田子みどり氏が講演

人材育成委員会の今年度第2回女性活躍推進フォーラムが7月8日、東京・日本橋三洋グループで開かれた。前田竜哉委員長は「他の業界でどのような女性活躍の施策を行っているか調べるだけでも知識が増える。皆さんは世の中の流れをしっかりと認識し、引き出しを増やし、いろんな情報を自分の中に収納して欲しい。」

たくさんの知恵を自分で吸収して、グループのメンバーで持ち寄り、最高の企画をつくっていただきたい」とあいさつした。

実務セミナーでは、(株)コスモピア代表取締役、田子みどり氏が今年度のフォーラムのテーマ「ワーク・ライフ・バランス」に「キャリア形成」について講演した。ワーク・ライフ・バランスに関しては、わが国では2007年に「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章」が政府、地方公共団体、経済界、労働界の合意で策定され、官民

味のお酒」「ボーナス」「彼氏」「結婚」等々が出た。

田子氏は、「ワーク・ライフ・バランスは政府の立場、会社の立場で重心の置き方が違うと思います。個人の立場でのワーク・ライフ・バランスとは、自分にとってのやりがいとは何か、自分にとっての幸せとは何かということを考えて、それを将来に向けて時間をかけて成立させていくことだと思います。私は会社経営をしながら子育てをしてきました。この二つの両立は、はっきりいって無理です。ではどうやってこなしただかという、出来る時に出来ることをやってきたに過ぎません。その時々優先順位をつけ、将来を予測しながらです。私にとつてのワーク・ライフ・バランスは、会社の仲間、同志、家族と、互いの志を理解し合い、共有し合って、それを社会に還元しながら健康に生きていくことです」と述べた。

新鮮な情報で自分磨き

また、「キャリアとは短距離レースではなく、どちらかというところマラソンです。人それぞれのペースで、志す方向に向かって、出来る時に出来る最善の努力をしながら、継続していくことだと思いま

す」と述べた。「キャリア形成」について、「世の中はどんどん変化しており、その中で志を貫くためには、自分を絶えず磨いて進化していかなければならない」とし、具体的には、新鮮な情報を収集するためにITを使いこなせること、異文化コミュニケーション力をつけること、心身を鍛えることの3点を挙げた。

この後4グループに分かれてディスカッションに移り、来年1月27日の第5回(最終回)を目指して企画を絞り、今後の進め方、役割分担などを協議した。最後に人脈形成のための交流会が開かれた。



あいさつする前田委員長

田子みどり氏▶



まず、参加者たちのワーク・ライフ・バランスとして、日常でのやりがいや充実感を書き出してもらった。「仕事を上司に認められたとき」「お客様に感謝されたとき」「部下の成長を感じたとき」「美